

令和3年度 草津市水防訓練

5月30日(日) 8:50~11:00 草津市防災ステーションにて

出席人数 52名



事態に備え対応技術・知識向上へ

草津市水防訓練に参加

— NPO草津 —



積土のう作業に取り組む参加者ら

草津市を拠点とする建設関連事業者でつくる「NPO法人 草津の未来を建設する市内業者会（略称「NPO法人草津市内業者会・理事長」森川守樹千商代表取締役）は先月30日、草津市の草津川防災ステーションで行われた「令和3年度草津市水防訓練」に参加し

た。草津市水防訓練（主催「草津市、主管「草津市消防団、滋賀県南部土木事務所、湖南広域消防局西消防署・南消防署」は、本格的な梅雨シーズンを迎え水害の未然防止と軽減を図り、市民生活の安心を確保するため開催。

NPO草津からは52名が参加。全員が揃いの黄色いNPOベストと活動服、ヘルメットを着用し、消防団と消防署員、市職員らとの連携のもと、水害の事態に備える確に対応できる水防技術・知識の習得・向上を図るための土のう作り・運搬と水防工法の訓練にあっ

た。当日はNPO草津に加え消防団員、消防署員、市職員1から成る総勢約240名の参加者を前に、橋川渉草津市長らが激励のあいさつを行い訓練がスタート。第1部訓練では説明を受け、約1000袋の土のう作りを実施。第2部訓練では水防工法の作業工程の説

明の後、3班に分かれ改良積土のう工・積土のう工と釜段工を実践訓練。作業完了後は市長や消防団長、西・南消防署長らによる工法出来栄確認も行われた。訓練終了後は使用した土のうを各消防団、備蓄用土のう置き場へ運搬し、いざという時の備えとした。

令和3年度定期総会

5月31日(月) 13:30~14:15 草津建設会館 2F 研修室にて

出席会員 18名 委任状 65名 計 83名

審議内容

- 第1号議案 令和2年度事業報告及び会計報告について
- 第2号議案 令和3年度事業計画及び収支予算案について
- 第3号議案 合同会社草津市街づくり研究所加入について
- 第4号議案 令和3年度理事役員承認について

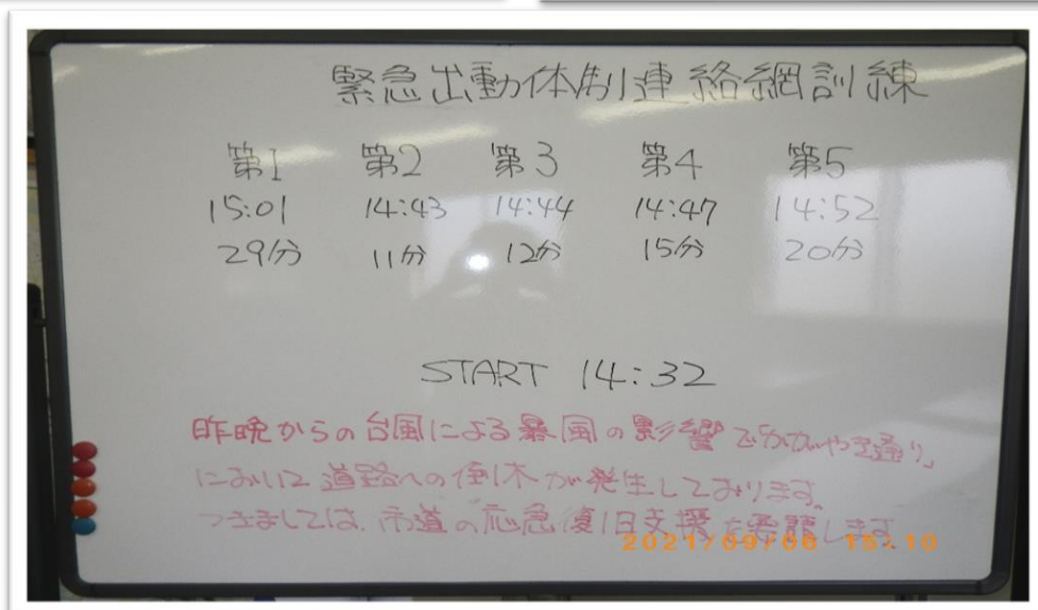
以上のすべて議案について、異議なく原案どおり承認可決する。



緊急出動体制連絡網訓練

9月6日(月) 14:30~ 完了 15:01 草津建設会館にて

出席人数 全会員 96社 事務所待機人数 9名(正副理事長4名、第1~5分団長5名)



草津市提出報告書

令和3年9月7日

緊急出動体制連絡網 実施訓練の結果報告

NPO 法人

草津の未来を建設する市内業者会

理事長 森川 守

防災部委員長 辻 由夫



このたびは緊急連絡網の実施訓練に参加ご協力いただきありがとうございました。
無事に訓練を終えることができましたので、結果を報告いたします。

開催日時 令和3年9月6日(月) 14時30分～15時01分
開催場所 草津建設会館
訓練参加人数 全会員96社
事務所待機人数 9名
(森川、辻、守野、武元、中西分団長、山本分団長、金本分団長、辻分団長代理、松田分団長)

訓練内容	草津市からの電話を受け、以下のように伝える。 昨夜からの台風による暴風の影響で「東矢倉から若草地先の市道野路若草線(かがやき通り)」において道路への倒木が多数発生しております。 つきましては、市道の応急復旧支援を要請します。次の方に連絡してください。
結果	スタート 14時32分 ⇓ 第1分団(草津学区) 中西分団長 15時01分(29分) 第2分団(志津学区) 山本分団長 14時43分(11分) 第3分団(老上学区) 金本分団長 14時44分(12分) 第4分団(山田学区) 辻分団長代理 14時47分(15分) 第5分団(笠縫・常盤学区) 松田分団長 14時52分(20分) ⇓ 終了 15時01分(草津市へ終了報告)
反省・課題	<ul style="list-style-type: none">・昨年度同様30分以内に連絡は終えたが、分団毎の差が激しい。第1分団については時間がかかった事業所に注意喚起を行った。・連絡がつかないところは飛ばし、次に連絡を取り分団長にその旨を伝えるという連携はほぼ定着した。・連絡が滞っている列がある場合、順を追っていくことも必要ではないか。・今後もいっどこにいても迅速に連絡がとれるよう、携帯電話に次の会社の電話番号、担当者の携帯番号、分団長の携帯番号の登録を推奨したい。また、連絡がとれない場合も、責任をもって対処できるよう意識啓発を勧めていきたい。

フルハーネス型墜落制止用器具特別教育講習会

11月17日（水）9：00～16：30 ポストンプラザ草津

講 師 一般財団法人中小建設業特別教育協会所属 林谷栄一講師

出席人数 38名



不法投棄撲滅運動（道路清掃）及び隊列訓練実施

12月4日（土）9：00～11：00 淡海くさつ通り 健康スポーツゾーン多目的広場

出席人数 55名





令和4年2月16日 絵本贈呈式

2月16日(水) 10:00~10:30 草津市役所 3F 応接室



絵本378冊を寄贈

森川多方面で支援活動継続



市役所での寄贈式に出席した(左から)武元副理事長、辻副理事長、感謝状を持つ守野副理事長、目録と絵本を手にする草津市の橋川市長、金森子ども未来部長

NPO草津市内の全保育86施設へ

草津市を拠点とする建設関連事業者であるNPO法人「草津の未来を建設する市内業者会(会川守理)」は、市内の保育所・幼稚園

へ378冊の絵本を寄贈した。同法人は、2008年の設立以来、社会貢献活動の一環として災害時の緊急出動、清掃や不法投棄撲滅活動、宿場まつりへの協賛参加、教育事業、また20年間に新型コロナウイルス感染症対策支援への寄付など幅広い支援を草津市に対して行っている。教育事業へは、希望を聞く必要とされる教材などを10年から毎年寄贈。これまでに幼稚園・保育所へ絵本、小中学校へホールや地区、かまどベンチの設置、空気清浄機などを贈ってきた。

低年齢施設への絵本寄贈は今回で8度目で、施設ごとに異なる絵本の保有状況と、多方面での支援活動を今

後も継続して参ります」と、理事長の言葉が伝え、橋川市長に贈呈目録を手渡した。

橋川市長は「市内86もの教育施設に、今年も多くの絵本を長年欠かさず寄贈いただき、また一昨年は新型コロナウイルス対策にも多額の寄贈を賜り、改めて深く感謝申し上げます。絵本に親しむことが、乳幼児期の発達・成長に不可欠で、草津市が目指す読書大好きな子どもを育む大きな力となり、今後とも支援を賜り、謝状を贈り、守野副理事長が代理で受け取りました。贈呈後、絵本は各施設に配布され、情操教育に欠かせない教材として保育の現場で活用される。

(4面に予算概要)

普通建設事業費 22.1億円は19.5%減

東近江市は21日、一般会計予算案が2月に市長選があったため、前年度より大幅な減額を見込まれる中、一般会計の普通建設事業費は22.1億円を、前年度より19.5%減の17.9億円に引き下げた。削減率は19.5%で、一般会計全体の削減率は16.1%に引き下げた。

普通建設事業費は、道路新設改良事業費1億5622万7974円、街路事業費4億2794万8770円、湖東中学校武蔵道場大規模改修事業費8882万円、などが盛り込まれた。

東近江市 22年度の当初予算案

一般会計で488億円

普通建設事業費 22.1億円は19.5%減

東近江市は21日、一般会計予算案を公表した。25日に開会する市議会3月定例会に提出する。

東近江市は21日、一般会計の当初予算案が2月に市長選があったため、前年度より大幅な減額を見込まれる中、一般会計の普通建設事業費は22.1億円を、前年度より19.5%減の17.9億円に引き下げた。削減率は19.5%で、一般会計全体の削減率は16.1%に引き下げた。

なっている。一般会計の普通建設事業費は19.5%減の17.9億円、削減率は16.1%に引き下げた。

きょうの紙面

◇野州市は一般会計24.4億(総額42.8億)の22年度当初予算案を公表した

◇県内の建築確認申請(2)面

◇入札情報、入札結果(4)5面

◇ケンキーは東近江市でケンキー八日市は日通の店新築計画、奥田工務店で近く着工する(6)面

「コロナウイルスに負けなで、がんばろう草津！」

http://www.kusatsu-city.jp/



【事業内容】・草津市民のための防災事業・不法投棄撲滅運動・災害時のライフラインの速やかな復旧・水防訓練、防災訓練への参加・宿場まつり協賛・草津市の教育事業への協賛

NPO法人 草津の未来を建設する市内業者会 理事長 森川 守

〒525-0033 滋賀県草津市東草津4丁目701 TEL(077)565-7010 FAX(077)565-4821

滋賀産業新聞

発行所
株式会社 SIN
「地方建設専門紙の会」会員
www.s-sangyo.co.jp/

本社
〒520-0801
大津市におの浜1-1-18
滋賀県建設会館 2F
TEL (077) 524-3630
FAX (077) 524-9660
購読料(1か月)10,368円(税込)
(1年)83,880円(税込)

購読・見本紙の申し込みは
0120-232838

おこたわり
2月19日以降、日本郵便の配達システム変更に伴い新聞の配達に遅延が生じております。ご了承下さい。

滋賀

読み聞かせ用絵本 寄贈

草津のNPO 市に378冊、86施設へ



寄贈した絵本と目録を橋川市長（右）に手渡す
守野副理事長―草津市役所

草津市のNPO法人「市役所に就学前の子どもの未来を建設す」もを対象にした絵本計画「草津の未来を建設す」は16日、378冊を寄贈した。

絵本は市内の保育所や幼稚園、こども園など全86施設に届けられ、読み聞かせなどに使われる。

絵本の寄贈は同法人が教育活動支援の一環で2010年度から毎年行っている。子育て世代の市内転入が増え、寄贈対象施設は当初から倍増した。

絵本は「おひさまあはは」「ねずみさんのながいパン」のほか、命の大切さを伝える「たからものあなただ」など年齢に応じ13種類を用意した。市役所であった贈呈

式では橋川渉市長がり、就学前の絵本の読み聞かせがそれにつながる「読書好きの育成を草津市の目標にしておがる」とあいさつし、渡した。（生田和史）